令和４年度宮城県試験研究機関評価委員会
第２回農業関係試験研究機関評価部会
研究課題に係る評価実施結果

１　評価委員

評価委員名	所属・職名等		摘　要
中 村　　聡	公立大学法人宮城大学食産業学群	教　　授	部会長
菊 地　　郁	公立大学法人宮城大学食産業学群	准 教 授	副部会長
麻 生　　久	国立大学法人東北大学大学院農学研究科	教　　授	
西條　由美恵	農業者		
佐々木　　均	農事組合法人仙台イーストカントリー	代表理事	欠席

２　評価対象課題

評価対象課題名	概　　要	実施期間	予 算 額	摘要
（１）農業の「働き方改革」に向けた女性や若者等が働きやすい就労環境のモデル化	農業法人における望ましい就労環境を実現するため，女性や若者も働きやすい就労環境をモデル化し人材確保や育成に向けた効果的な対策を明らかにする。	令和元年度 ～ 令和３年度	1,428 千円	事後評価
（７）水稲省力・低コスト化総合的栽培技術の確立	直播栽培における不安定要因を抽出し，各栽培技術の再構築を行いながら，安定生産に向けた宮城型省力・低コスト栽培技術を確立する。	令和元年度 ～ 令和３年度	4,399 千円	事後評価
(11) 昆虫の寄主選択機構に着目した総合的害虫管理技術の開発	イチゴやトマト等の施設果菜類では総合的病害虫管理技術（IPM）の取り組みが進んでいるものの，それ以外の露地野菜，果樹，花きでは取り組みが遅れているため，これらの品目において導入可能な IPM 技術を開発する。	令和元年度 ～ 令和５年度	4,792 千円	中間評価
(12) 宮城県に適した超多収水稲品種開発に向けた中間母本の育成	宮城県において超多収となる水稲品種を開発するため，安定した多収性を選抜指標として系統の養成・選抜を行い，水稲中間母本を育成する。	令和元年度 ～ 令和５年度	2,274 千円	中間評価
(13) 土地利用型農業経営における病害虫リスク管理と防除技術の確立	土地利用型農業経営体において，斑点米カメムシ類の発生可能地域の拡大，新品種導入時の病害虫発生，露地野菜の拡大に伴うダイズ害虫など，予想される病害虫リスクを回避するための防除技術を確立する。	令和元年度 ～ 令和５年度	8,284 千円	中間評価
(14) 除染後牧草地の維持管理技術の確立	草地管理の違いによる土壌中カリウム濃度を把握するとともに,除染後草地での土壌成分の回復を図る施肥方法を検討する。また,除染後草地において牧草への放射性物質移行を抑制できる栽培管理や再更新手法について検証する。	令和元年度 ～ 令和５年度	2,660 千円	中間評価

(15) 水稲栽培における有機物循環利用と効率的施肥による肥料コスト低減技術の確立	水稲栽培において，家畜ふん堆肥と利用効率の高い施肥法との組合せや，緑肥利用といった県内での取組み事例が少ない有機物循環利用による化学肥料低減技術について，その効果を検討し，取組みやすい低コスト技術の体系化を図る。	令和５年度 ～ 令和７年度	3,176 千円	事前評価
(16) 乳用牛のベストパフォーマンス発揮に向けた飼養管理手法の確立	改良により向上した産乳能力を引き出すため周産期時の飼養管理手法および抗生剤に依存しない疾病発生予防手法の技術を開発する。	令和５年度 ～ 令和９年度	4,450 千円	事前評価

３　評価項目

（１）事後評価

イ　目標の達成度
ロ　研究成果
ハ　地域への貢献度・波及効果

（２）中間評価

イ　計画の進捗度
ロ　情勢変化等への適合性
ハ　研究成果及び地域への貢献度・波及効果の見通し

（３）事前評価

イ　研究目標のニーズ適合性・地域への貢献度
ロ　緊急性・優先性
ハ　独創性・先進性・優位性
ニ　市場性・成長性
ホ　実現可能性
ヘ　人・予算・設備等の推進体制

４　評価結果（コメント等は別紙参照）

（１）農業の「働き方改革」に向けた女性や若者等が働きやすい就労環境のモデル化
事後評価：「優れた研究であった」

（７）水稲省力・低コスト化総合的栽培技術の確立
事後評価：「優れた研究であった」

(11) 昆虫の寄主選択機構に着目した総合的害虫管理技術の開発
中間評価：「計画どおりである」

(12) 宮城県に適した超多収水稲品種開発に向けた中間母本の育成
中間評価：「計画どおりである」

(13) 土地利用型農業経営における病害虫リスク管理と防除技術の確立
中間評価：「計画どおりである」

（14）除染後牧草地の維持管理技術の確立

中間評価：「計画どおりである」

（15）水稲栽培における有機物循環利用と効率的施肥による肥料コスト低減技術の確立

事前評価：「ぜひ採択すべきである」

（16）乳用牛のベストパフォーマンス発揮に向けた飼養管理手法の確立

事前評価：「ぜひ採択すべきである」

５　研究課題評価表

別紙のとおり。